

授業科目

教育心理学II

担当教員名 遠山 孝司	対象学年	2	対象学科	スポ
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

児童・生徒の発達面、学習面、社会面、進路面における諸問題に対する心理教育的支援サービスを効果的に行うための基本的知識と態度の習得を目的とする。

あわせて、障害児に関する心理学的理解を深めるとともに、障害児の発達を支援するために必要な知識を身につける。さらに、欲求やストレスについての理解を深めるとともに、教育において他者のQOLを高めるために必要な知識を身につける。

授業の目的

教員になるまたは教員免許を取得するにあたって、必要となる教育心理学に関連する知識と態度を身につける。

学習目標

1. 発達に関する理論、発達障害（障）の諸様相を理解し、児童生徒の発達に応じた指導教育が考えられるようになる
2. パーソナリティや知能に関する理論を理解し、児童生徒の個人差に応じた指導教育が考えられるようになる
3. 欲求と動機、ストレスと不安などの諸理論を理解し、児童生徒が自発的に課題に取り組むような指導教育、児童生徒のQOLを高める指導教育が考えられるようになる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	発達の心理学（発達とは）	講義と小レポート	遠山 孝司
2	発達の心理学（発達段階説）	講義と小レポート	遠山 孝司
3	発達の心理学（認知、言語、道德性の発達）	講義と小レポート	遠山 孝司
4	発達の心理学（発達における個人差と障碍）	講義と小レポート	遠山 孝司
5	パーソナリティの心理学（パーソナリティの諸理論）	講義と小レポート	遠山 孝司
6	パーソナリティの心理学（パーソナリティの測定）	講義と小レポート	遠山 孝司
7	欲求と動機の心理	講義と小レポート	遠山 孝司
8	ストレスと不安の心理	講義と小レポート	遠山 孝司

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	なし					
参考書	なし					
その他の資料	資料は適宜配布する					

評価方法

期末試験(100%)

ただし、試験受験資格は学則によるものとする。そのため出席状況によっては成績評価の対象とならないこともある。

履修上の留意点

- ・履修上の留意点は初回授業時に周知するので必ず参加すること。
- ・資料は適宜配布、紹介する。
- ・講義内容を覚えることではなく、講義内容を基に自分自身や自分の身の回りの人間、自分の過去や将来像、人間観などに当てはめて深く考えること、自分が考えた内容を表現できるようになることを求める。
- ・教育心理学1と教育心理学2をあわせて試験を行うため、同時期に履修すること。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：月曜日2限（予定）、0513研究室

連絡先：tohyama@nuhw.ac.jp